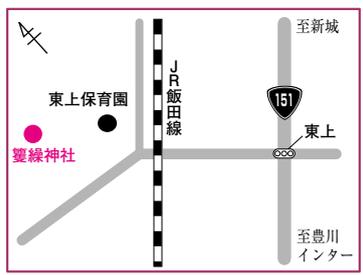




# みつけた!



## 安産の神様 豊線神社



市立東上保育園の北側の深い森の中にあるわくぐり豊線神社は、安産の神様として有名で、お札を求め、遠くから大勢の方が参拝に訪れています。

雄略天皇（457～479年）のころの創祀と伝えられ、実に1500年もの歴史があります。当時は、現在の江島町に建てられていたそうですが、1608年に、当時の代官が豊川の洪水を恐れて、現在の場所へ移したものです。

御祭神は、うげもちのかみ保食神とわくむすびのかみ稚産霊神で、ともに安産の守護神としてまつ祀られています。大正14年からは皇室へお守りの献上をはじめ、皇太子殿下や敬宮愛子様のご誕生のときもお守りが献上されています。安産の神様として有名なことは知っている方も、皇室へお守りを献上されていることは知らない方が多いのではないのでしょうか。

皇室への献上85年と遷座400年を記念して、建替え工事を終えたばかりの真新しい拝殿は、白木の香りも芳しく美しい姿をたたえています。

この拝殿は、東上町で見ることができます。

